

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

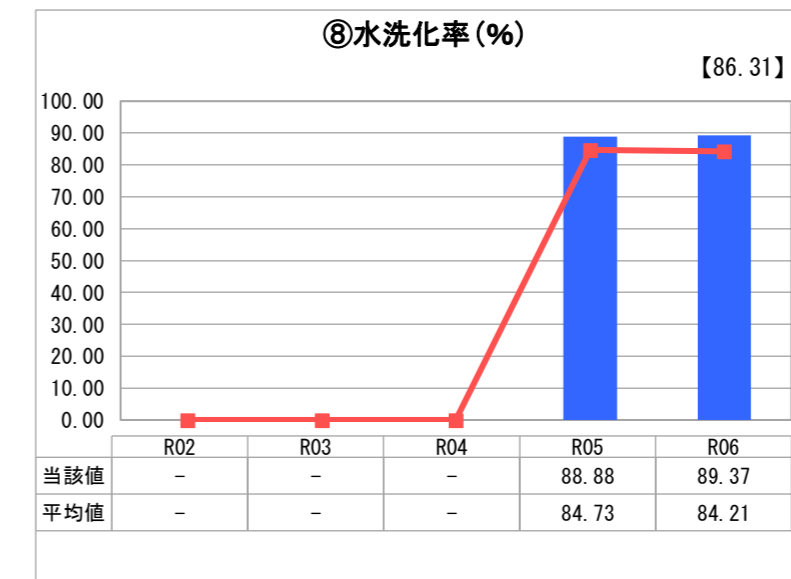
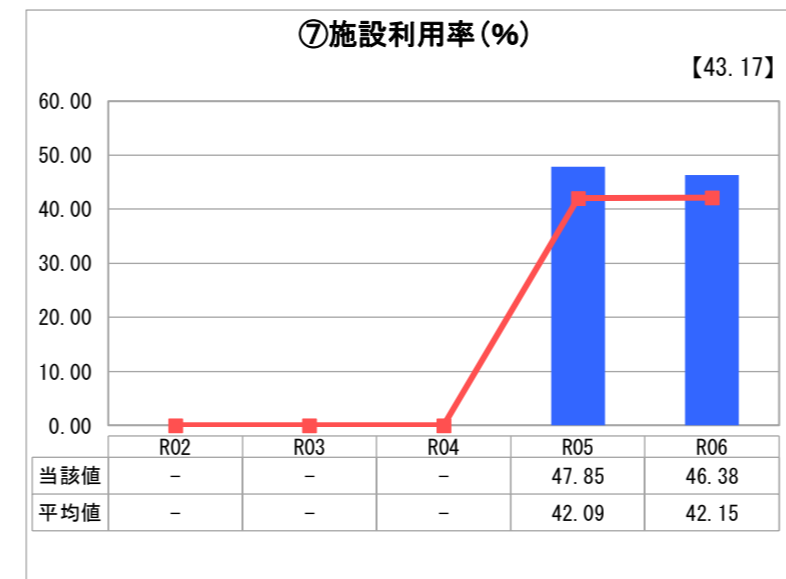
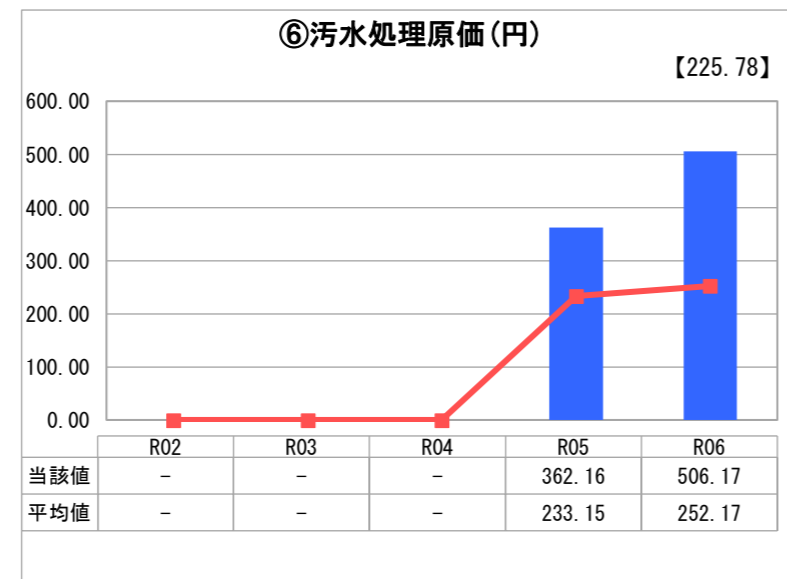
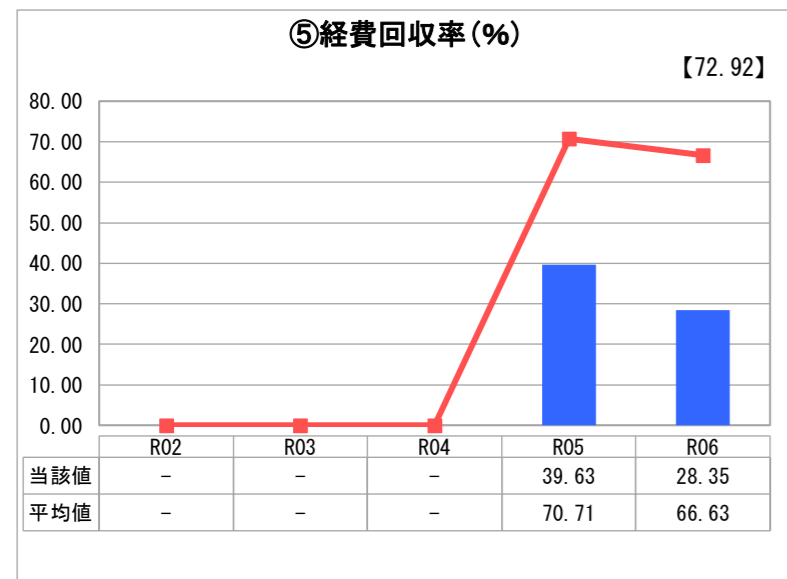
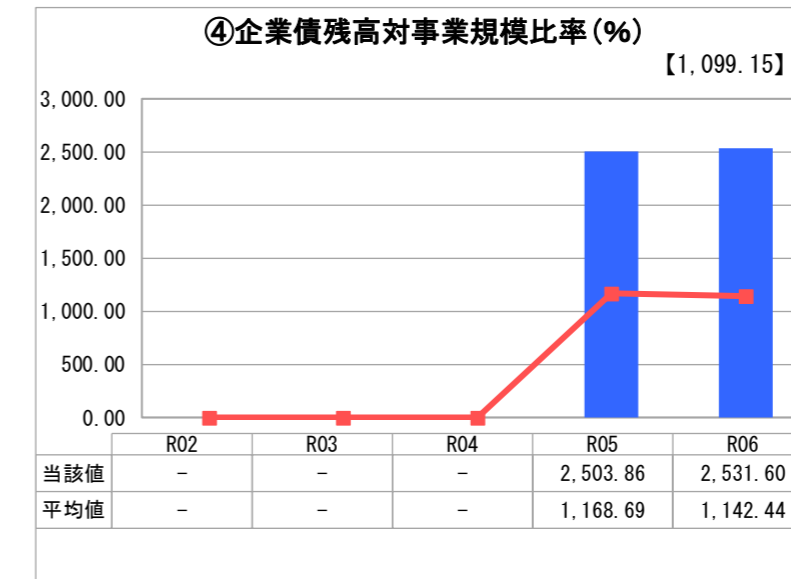
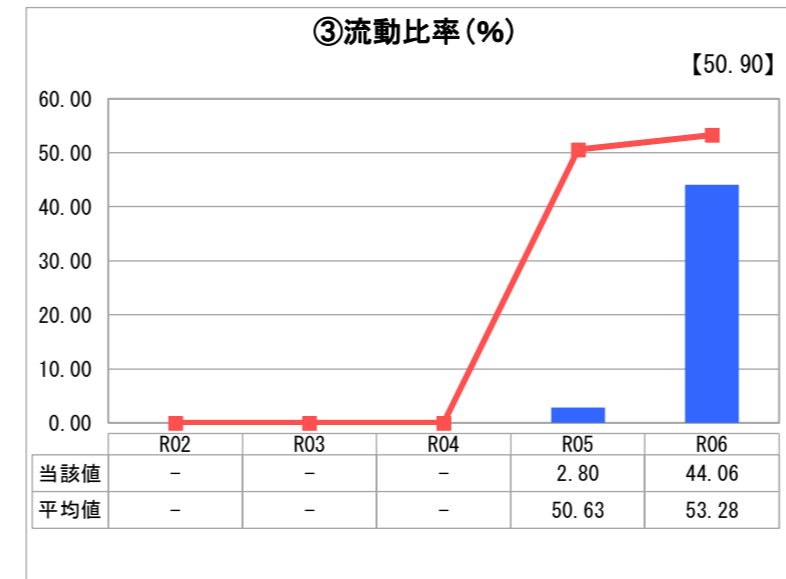
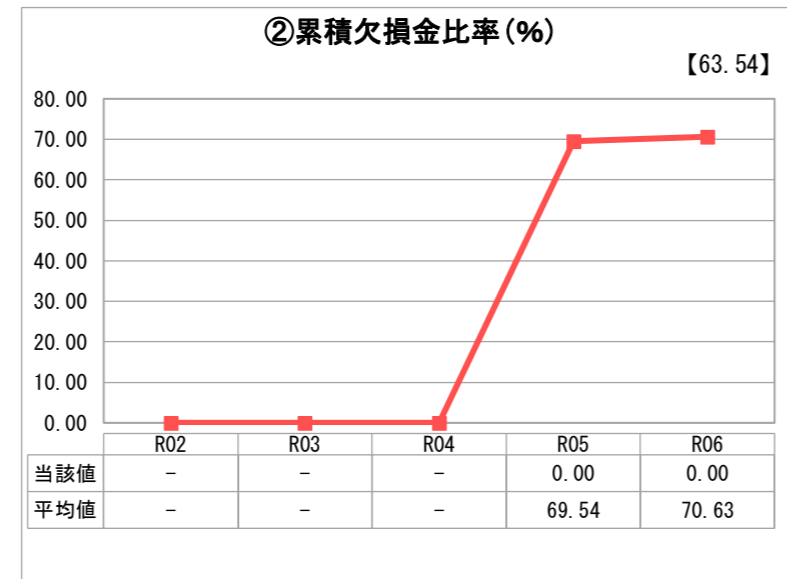
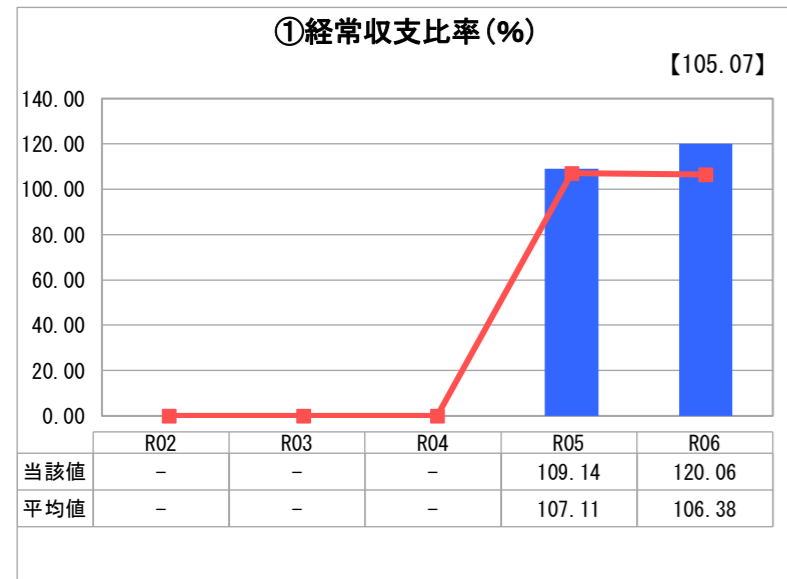
栃木県 那須烏山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.26	5.41	79.78	2,805

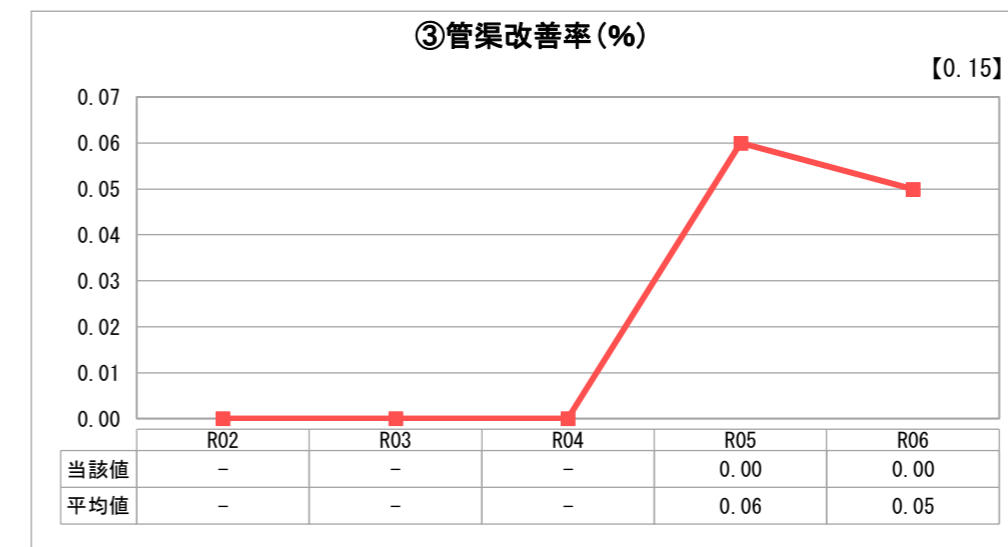
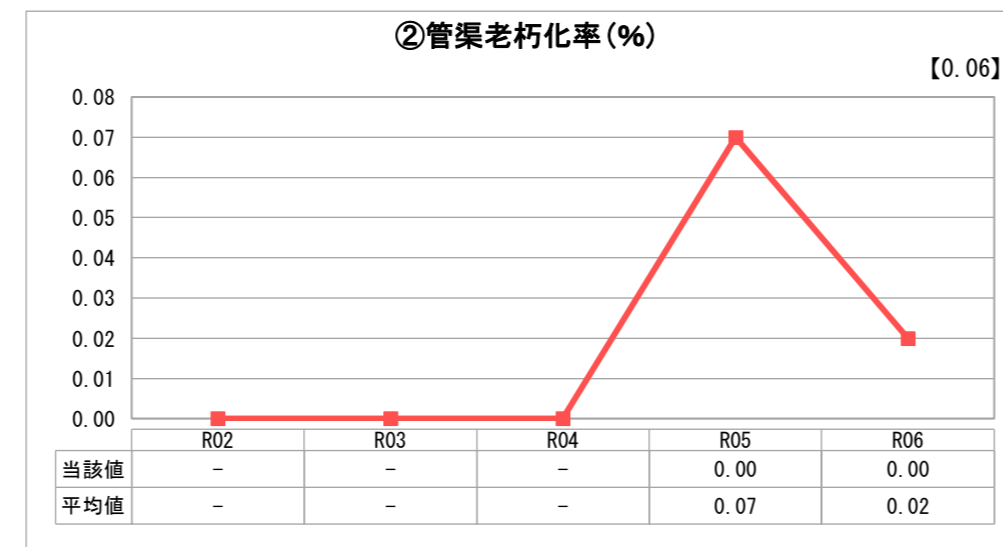
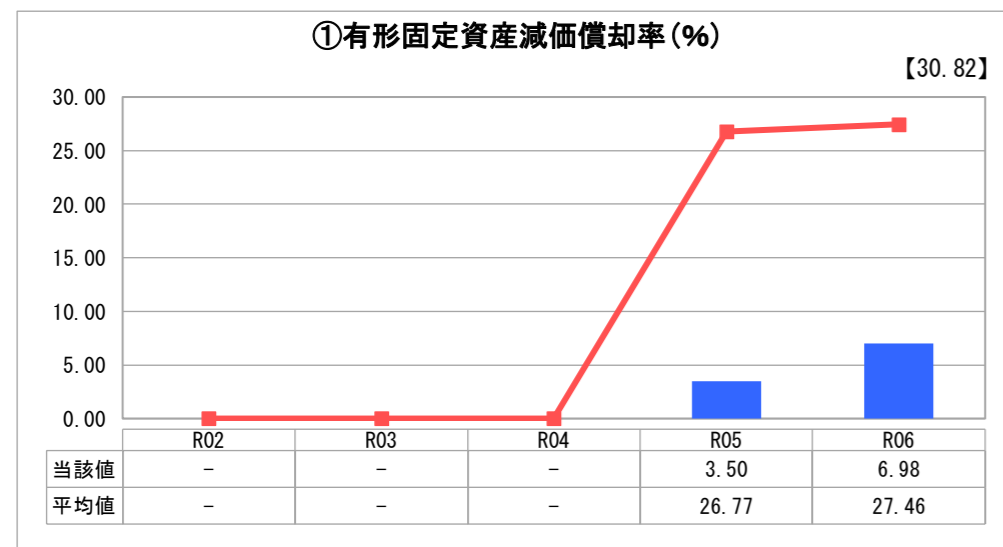
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
23,482	174.35	134.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,261	0.64	1,970.31

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率については、昨年度より11.28ポイントさらに悪化し、依然として平均値を下回っている。現状では一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況であり、経費削減等の改善を一層進める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、昨年度より3.48ポイント増加したが、依然として平均値を下回っているため、老朽化している施設は少ない状態である。しかし、将来的には施設更新等の高額の工事が予想されるため、令和3年度よりストックマネジメント計画を策定し、長寿命化を進めている。

## 全体総括

工事はすべて完了済みであり、平成24年度に全体計画を変更して以降今後も変更の予定はない。更なる水洗化率向上に取り組むとともに、料金改定についても早急に検討していく必要がある。将来的に予想される施設及び管きよの更新等については、計画的に対応していく。

区域内の人口は減少しているが、使用料収入には顕著な変化は見られない。しかし、将来的な減少が予想されることから、経営の更なる効率化や施設の最適化等の検討を進める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。